

平成28年11月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成28年11月29日(火) 9時から
2. 会場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎3階 301会議室
3. 出席委員 : 教育委員長 垂井 美千代
教育委員長職務代理者 渡辺 義弘
委員 野上 美智子
教育長 斎藤 克己

4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	廣田 誠一	学校教育課長	山田 晃世
社会教育課長	斉藤 隆生	文化・文化財課長	川野 義明
学校給食課長	姫野 敬一		
教育総務課課長代理	荻野 健	学校教育課課長代理	斎藤 正雄
社会教育課総括課長代理	口石 愛		
教育総務課主査	原 絢子	教育総務課主事	姫野 まりな

5. 傍聴人 木村 公治

6. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席委員数の報告を行います。本日の出席委員4名、欠席委員1名で、出席委員が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。

(委員長)

ここで、事前に皆さんにお諮りいたします。

本日の委員会について、1名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。この傍聴希望の方は、江無田の木村さんです。

今回、次第3の協議事項の報告第11号「専決処分の承認を求めることについて」は非公開としたので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、採決を行います。賛成の委員は、挙手をお願いします。

3分の2以上の挙手がありましたので、公開しないこととします。

(委員 許可)

それ以外については、傍聴を許可するということにいたします。

(傍聴者 入室)

これより臼杵市教育委員会、平成28年11月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は本日一日限りとしたします。

次に、会議録署名委員に渡辺委員と野上委員の2名を指名致します。

2. 教育長報告

(委員長)

次第2の教育長の報告を求めます。

(教育長)

おはようございます。昨日、学校訪問お疲れ様でした。11月は文化祭や音楽祭があったので文化の秋を感じられました。嬉しい報告ですが、歯と口の健康、図画ポスターコンクールで野津幼稚園の薬師寺夏帆ちゃんが、全国で6点ある最優秀賞のうちの1点に入りました。それともう一点、11月22日に表彰があったんですけども、教育実践者、昨年は野津中学校の中島先生が表彰されましたが、今年は同じく野津中の霜山さん、部活動の功績で表彰されました、県下15名のうちの1名ということで、それをまず報告させていただきます。

行事報告書から報告させていただきます。1日は、昨日(11月28日)終わりました学校訪問が始まりました。この日は、第2回目の歴史資料館の運営委員会がありまして、次年度の展示計画についてほぼ決定いたしました。この中で、再来年に開館五周年を迎えるので、色々考える必要があるんじゃないかというご意見も頂いておりますのでそれに向けて検討する必要があるかなと思います。同日3時から毎年やっている校長会・教頭会の懇談でした。次年度の予算に係ることで色々お話をしました。施設や設備、人事に絡ませた話でした。

2日は職員採用試験委員会で、消防初級と建築の状況の報告を受けました。また、3日は文化の日表彰式でした。右側に書いてますが、自治功労で臼杵一平さん、郷土芸能功労で釘宮清さん、体育功労で岡松眞明さん。観光文化功労団体ということで、今年20回目を迎えました竹宵の実行委員会がそれぞれ表彰を受けられました。

また、4日ですが臼教研と次年度の予算について話し合いました。今年から教育委員会と一緒に取り組もうということで、数々の連携した取り組みも行ってきましたが、今年の課題を受けて来年度取り組もうということで、言っています。それから、臼教研自体の組織の見直しとして、先生の数の減少と今の実態に合わせた再編を検討したらどうかという提案をさせていただきました。

それから、5日ですが、5日6日で常陸太田市から2回目を迎えた竹宵に合わせて大久保市長他41名の市民訪問団として来られて、出迎えました。その日、竹宵を見て、野津や石仏をまわったようです。それから6日はWA-OTOのコンサートがありました。教育委員会と臼杵市の主催ということで、竹宵の20回目にあわせて、記念事業として実施いたしました。630人くらい入っております。それから、7日は定例校長会がありました。この日は、10月の定例教育委員会でも報告しました市町村教育長会議の件です。芯の通った組織に向けて、次年度に取り組むこと、あるいは29年度の人事異動に関することについてお話しました。それと併せて、管理職試験の受験者が非常に少ないということをお話して、できるだけ受けるよう次年度に向けてお話するようお願いいたしました。それから、今月は研究発表の月でして、9日は下北小学校の体育の指導について、併せて下ノ江小学校

が人権学習ということでした。私は下北小学校の、2年生のマット遊びと5年生のソフトバレーボールということで、2年生は非常に活気があり、遊びの中で体の使い方を覚えていっていると感じましたが、ソフトバレーボールは少しまとまりがないような感じがいたしました。それから、次の日が野津中学校の発表でアクティブラーニングでした。17日の備考の講演会「考えることを教えること」は野津中学校の研究発表の内容ですので、修正をお願いします。公開授業と併せて臼教研と連携して取り組むということで初めて、鳴門教育大学の泰山先生の講演会でした。私は行けなかったんですけども、分かりやすかったというお話を聞いています。

それから、12日は3つの教育推進フォーラムということで、中央公民館で行いました。臼杵市の今までの取り組みということで、学校教育、社会教育は特に今年家庭に力を入れ、家庭教育支援ということで取り組みについて説明させていただいて、その後、右側に書いていますが熊本県宇城市中央公民館長の三角さんの方から「子どもとの絆を育むマジックコミュニケーション」のお話がありました。非常に分かりやすく、面白くお話しただいて、非常に好評でした。

また、16日は、毎年ですが臼杵津久見法人会から税に関する漫画本とクリアファイルを小学校6年生全員分いただきました。17日は金銭教育研究大会ということで、南野津小で大分県金融広報委員会の事業として行われていますが、500円で足りる買い物というテーマで子ども達に、四捨五入や切り上げの考え方を交えて話されました。生活に密着した授業で良いのではないのかなと思いました。同日、フッ化洗口の実施の検討委員会で、モデル校を3学期から実施するために、説明をいたしました。

19日は、県P連指定研究発表会ということで、臼杵小学校で「防災活動を通して人間形成をおこなう」という研究主題で、これまでの5か年の取り組みをPTAが主体となって取り組んでいる事業、地域を巻き込みながらやっている事業について、すごいとおっしゃられていました。それから、垂井委員長も一緒に行かれましたが豊洋中学校の文化祭で、地域の方と保護者にも協力いただいて、和やかな文化祭が11人の子供たちの手で開催されたな、と思います。

それから、24日に、人材育成市民連携会議がありました。今年度の取り組み状況について市の教育委員会、臼杵高校、海洋科学高校の取り組みについて説明をし、次年度に向けてということで、海洋科学学校が単独校として、来月の12月の議会で最終決定になりますが、動いています。それから、今日の合同新聞に出ていたようにありますが、科学の甲子園全国大会出場報告ということで、昨年の大分教育の日に発表してもらって、臼杵っこガイドをしていただいた甲斐航君が、全国大会で仲間と共に出るということでご報告をいただきました。

それから、25日は定例の教頭会がありまして、今月は研究発表が多く、研究成果を次年度以降に活かしてほしいということでした。それから、フッ化物洗口の今の状況について、説明いたしました。また、26日ですが、臼杵っこガイドときつき歴史探検隊との交流ということで、石仏のガイドをしてもらったり、観光交流プラザで意見交換したりしました。臼杵が7名で、13名で色んな交流が出来たと思います。臼杵の子ども達も、杵築に行ったことが無い子が多かったので、次年度以降うちから行けるような方法を考える必要があるかなと思いました。

また、28日ですがポスターコンクールの報告でした。今日は、昼から石仏保存修理委員会で、次年度の取り組みについて協議いただいております。

それから明日ですが、県の教育長に海洋科学学校が単独校になったということで、ずっと要望してきたことが実現できましたので、そのお礼ということで次長と県へ行きます。以上で報告を終わります。

(委員長)

教育長の報告が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

音楽会は、本当に素晴らしかったです。何故市民も自由に来て聞くことが出来ないのか、という声がありました。去年も言いましたが、小学校も中学校も素晴らしかったです。それから、甲斐航君がガイドで、県の教育の日大会が臼杵であって、臼杵ではこんな子が育っているのかという声があり鼻が高く、また夏帆ちゃんがこういうことをやっているの、臼杵っこが頑張っています。それを嬉しく思うし、皆で市民に伝えて行きたいと思います。

以上で、教育長報告を終わります。

3. 議事

(委員長)

これより次第3の協議事項に入ります前に、傍聴者の退席を命じます。

傍聴人の再入場を許可します。

(傍聴者 再入場)

第35号議案「平成28年度補正予算（12月定例市議会）について」説明を求めます。

(教育総務課長)

平成28年度予算を補正することについて議会の議決を必要とするので、下記議案を提出することについて臼杵市教育長に対する事務委任規則（平成17年教育委員会規則第6号）第1条第9号の規定に基づき議決を求めるものです。資料をお配りしていますので、ご覧ください。課ごとに説明をいたします。まず教育総務課ですが、歳入は後で歳出の時に説明します。

歳出をご覧ください。歳出の1番、豊洋中学校記念式典事業です。豊洋中学校の閉校式典を3月19日に予定しています。それに要する費用を12月補正で計上しています。食糧費と印刷製本費、ということで簡単な冊子とDVDを作成して地域に配りたいということです。また、ポケットパーク整備委託費ですが、通常閉校記念碑が入っていますが、門を入れてすぐのところ50周年の記念碑が建てられていますが、それを、門を入れて左側のちょっと空いたところにそれらの碑を一緒にして、庭を造りたいということで計上しています。

5番ですが、施設工事費という、19,054,000円ですが、福良ヶ丘小学校に自家発電設備を設置するもので、今回の国の補正予算で採択されましたので、12月補正で予算要求するものです。これが歳入の1番で、学校施設環境改善交付金6,414,000円、これが国の交付金になります。それと、4番が起債として計上しています。

歳出の7番をご覧ください。設計、監理委託料7,501,000円と、10番の施設補修工事費152,265,000円、これも国の補正予算で採択されましたので、12月補正に計上します。去年、野津中学校と西中学校の空調の整備を行いまして、今回、残りの北中学校、東中学校、南中学校の3校についての空調の整備を行うものです。12月補正で計上しますが、繰越をして来年の夏、2学期には完成できるように進めたいと思っています。

これの歳入が、2番が交付金で38,399,000円、4番が残りの起債の分です。国の補助率は3分の

1 です。以上で教育総務課を終わります。

(学校教育課長)

それでは、学校教育課です。主なもののみをお伝えします。12番、13番の方はスクールバスの減額ということで計上しています。14番の外国青年招致渡航負担金ですが、これはALTのものになります。後は教職員の健康診断と委託料、講師謝礼や消耗品費等で計上しています。以上です。

(社会教育課長)

社会教育課について説明します。22番の設計委託料1,705,000円ですが臼杵中央公民館の舞台機構、要は舞台の吊物になります。吊物が、ホールの天井の改修の時に早急な対応となるポイントとの判断の元、今回挙げまして、29年度で改修、取替えの形を取りたいと考えています。次のページです。26番の報償費300,000円につきましては、スポーツ奨励金になるんですけども、前年度と比較して、今年度は九州大会、全国大会の個人の出場が多いということで、報償費が不足しているということです。それから28番は、施設改良工事費で、吉四六ランドの野球場です。三塁側の防球ネットは設置しているんですけども、一塁側の防球ネットについて、各団体から設置をしてほしいという要望が数年前からありましたので、今年度設置をして、新年度のシーズンに間に合わせたいと考えております。以上です。

(文化文化財課長)

文化文化財課分についてです。歳入についてですが、8番の市民会館使用料。これは、夏場に市民会館の使用率が上がったということで、年間でこのくらい増額なんじゃないかという見込みで計上しています。9番については、歳出でご説明いたします。

歳出の29番の手数料です。183,000円についてですが、文化振興事業ですが、熊井惇さんという大分の山香出身の画伯で、この方が石仏の絵を描いておりまして、これを9点ほど寄贈したいということで、10月に手続きをしまして、別府市に娘さんが保管しているそうなので、別府から運ぶのに運搬手数料ということで計上しています。それから31番です。設計委託・施設改修工事費ということで、市民会館に冷却塔という施設があるのですが、今年の夏に冷房が劣化してしまっていて、応急処置をしながらやってきましたが、これ以上は無理だと業者から言われてますので、当初予算では来年6月以降の時期に間に合わないということで、緊急的に12月補正で計上しています。設計委託が422,000円で、工事費が13,547,000円ということで、今回計上しています。財源が、13,800,000を市有施設の整備基金の方から充当をするようにしています。それから、32番です。舞台設備操作業務委託料ということで、1,537,000円、これに先ほど言いましたように市民会館の使用率が非常に増加しているということでそれに伴います舞台操作運用業務の委託料ということで計上しています。それから、35番が費用弁償の減額204,000円です。これは、石仏の法面修理事業が完了したということになります。以上です。

(学校給食課長)

学校給食課です。37番につきましては、調理補助員として雇用している非常勤職員4名から5名に、1名増員したための増額です。指定額は、1,843,000円です。続いて、歳出番号38番についてですが、臨時傭人料の減額です。これは平成28年度末までの執行見込み額の精査による300,000円

の減額です。以上です。

(委員長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

4. 学力向上について

(委員長)

「授業力向上プロジェクトについて」説明をお願いします。

(学校教育課長)

それでは、資料をご覧ください。授業力向上プロジェクト2016ということで、授業の達人に学ぶ授業ということで、1枚目ですが、教育長の報告にもありましたが、今年度、野津中学校の臼教研の発表に、鳴門教育大学の泰山先生の講演を組み込むという形を取っていました。講演は先ほどの話にもありましたが、思考ツールを使った考えることを教えたいという題名に従って先生達に講演をしていただいております。今までは、授業を見た後に、授業への意見交換ということになっておりましたが、その時間を少し縮め、こういう事をしています。泰山先生も、講演の中で授業の振り返りということも入れていただいで、訪れました中学校の教員につきましては非常に良い講演だったというような言葉をいただいております。

続きまして次のページになります。北中学校に泰山先生に行っていただいで、校内研修に参加していただきました。それぞれ学力向上支援教員、それから近隣の希望する先生達も集まってそれぞれ自分たちの教科を、実際に教科書を使って思考ツールの活用場面を勉強するというような機会を、持っております。そのページの下に書いてあるのが先生達の意見です。目からうろこ、新しい研修に出会えましたという感想が多かったそうです。

続きまして、体力向上アクションプランということで、次のページをご覧ください。臼杵市体力向上アクションプランを、次の流れで行っています。上の方にあります体力向上推進校等については、今中学校の方も取り組んでおりますし、体育専科教員の配置ということで、先日研究発表会もありました。下北小の、上山先生の訪問指導で、それぞれ体力向上をしています。今回ここに載っているのは、食育推進ということで、小中学校で、栄養教諭による訪問指導、また、栄養士、保険健康課の訪問指導ということで、今取り組んでいるところです。先日、市浜小学校で栄養教諭を活用した食育推進事業ということで、研究発表会を行いました。3年生の国語で、大分県下から87名の参加をいただきました。

次のページです。これが、ICTを使つての説明を、ということでその様子をそれぞれ記しているところです。生徒も、分かりやすいという感想をいただいております。すがたをかえる大豆という国語の教材を取り上げて、学校給食に姿を変えた大豆ということでまぐろと大豆のピーナッツがらめや中華スープといった、大豆にちなんだ給食のメニューということで、入れております。栄養教諭の山本先生や子ども子育て課の保健師が生活習慣病について6年生の保健について山本先生と共に保健の授業を行ったということで、これにつきましては小学校4年生の授業等でも取り組んで行く予定です。今年度の予定ですが、山本先生はこの後80回学校の訪問を行ってもらうことになっています。

次のページをご覧ください。その写真は、豊洋中学校で、保護者も交えて臼杵土曜ふれあい学校の方、もしくはPTA等での取り組みを写真で表したものになっています。このように、食育

を体力向上プランの柱として取り入れて取り組んでいるところです。一番下のページですが、金銭教育の研究発表会がありました。教育長の報告にもありましたが、臼杵市立南野津小学校で、59名の参加で、先生方の授業を見た後に先生方の金銭出前ワークショップをして、実際にやってみて金銭教育を学ぶというような取り組みをいたしまして、非常に良い研究発表会であったという風に書いております。以上で、授業力向上プロジェクトの報告を終わります。

(委員長)

担当課より説明が終わりました。委員の皆さま、何か質問等ございませんか。

(野上委員)

栄養教諭の先生と、家庭科を担当する先生、養護教諭の先生との協働というのは、何か話し合いがあってるんですか。

(学校教育課長)

村松指導主事が担当となって連携を取り、今進めているところです。

(委員長)

「ストレス診断の報告について」説明をお願いします。

(学校教育課長)

資料編の1ページをご覧ください。白黒で分かりにくい部分もありますが、1P目が小学校のストレス診断です。パソコンでそれぞれ教職員が入力して、それぞれの項目に答えるようなものをしています。1日の仕事量や家族、上司のフォローといったものが何十項目かありまして、それに答えて平均を求めるものです。

1枚目を説明いたしますと、4月から9月までが第一期で、10月から3月に第二期を行います。これが第一期の結果で、全国平均と、県内平均である全体平均の値です。分析結果ですが、仕事の量的負荷が全国より高い値が出ています。ただ、上司の支援、同僚の支援が全国平均より高く、比較的良好ということです。

2枚目につきまして、ストレスの原因と考えられる因子ということで、大分県全体平均が赤、臼杵市平均が青で示されています。グラフには偏りが見られます。

次のページですが、中学校のものになります。中学校も同じく、仕事の負荷が全国よりも高く、改善が必要になります。ただ、小学校と同じく上司、同僚の支援が全国平均より高く、比較的良好であるという風になっております。

次のページが、先ほど説明しましたようにチャートになっています。小学校と比較して、ストレスによって起こる心身の反応の所が赤い全体平均を少し超えているようなグラフです。以上です。

(委員長)

担当課より説明が終わりました。委員の皆さま、何か質問等ございませんか。

(野上委員)

同じ職種だけでなく、違う職種の人のストレスを比較してみると、教員の中だけで、どういうストレスが発生しているかというのと、他の職種で比較してみると、面白いのかなと思います。

(渡辺委員)

統計を取って、何かするんですか。

(学校教育課長)

今度、労働安全衛生委員会がありますので、その時に報告いたしますとともに各校のデータを各校で組織している労働安全衛生委員会でかけて検討していただきます。

(委員長)

「学力向上プロジェクト会議について」説明をお願いします。

(学校教育課長)

資料の次のページをご覧ください。前回の定例教育委員会で、下南の桑原校長から提案がありました、校長会主催の学力向上プロジェクト会議についてです。11月2日に第一回幹事会を校長会が主催し、出席者は小・中学校の校長・教頭と市教委から指導主事二人ということで、10名の参加で行っております。具体的な協議内容につきましてはそれぞれ小学校では4の(2)にあります。臼杵市の共有フォルダの活用ということで、臼杵市共通の単元テストを作って、そこに入れて活用しようということ、全国学力テストのデータ、習熟別の問題を誰でも見られるよう共有フォルダに入れて行こうというのが1点目です。

2点目に、長期休業中の臼杵市共通問題集の作成・配布です。過去問題から習熟度、正答率、重要問題を作成し、共有しようということです。

3点目に、個別指導時間の設定です。短縮校時に放課後学習の時間の確保を各校で取り組んで行こうということです。

4点目に、宿題、家庭学習への取組として、小中一体教育の学力向上部会と連携をして、必要に応じて児童クラブにも要請して行こうということです。

5点目に、若手教員の授業力向上のための研修の機会を計画をしていく、以上の点が小学校から挙げられています。

次のページですが、中学校です。12月末までに「全国テスト・県テスト」の問題に全職員で取り組むということで、中学校は教科がありますが、今までは教科に任せきりだったのが、全職員で共通理解ということで、全員で全国・全県のテストを研修の時に解いてみて、全職員がどのような問題が出されているか、どんな力を付けて行かなければならないかをしっかりと把握して行こうというようなことが挙げられています。

また2点目ですが週4日帯タイムというものを、学活の後全中学校で15分間の設定で、全国テスト・全県テストを1問ずつでも経験させ、国語2日数学2日の割合で実施していく。問題については、学力向上支援教諭に協力をしてもらおうということで、取り組んでいきます。

3点目ですが、思考・判断に基づいた表現力を問う問題を全ての学校全ての教科で定期テストに組み込むように実施をしていくことをします。

小中の取り組みですが、全職員で、全国学テ全県テストの回答をする場を、小学校で取り組んでいる学校が多いと報告を受けています。6年生卒業後の春休みの学習課題ですが、臼杵市、ブロックで共通問題を作成して、中学校に情報を渡せるように、そういった取り組みをしていこうということです。中学校に入りましたら4月に実力テストがありますが、春休みの課題からの出題をするといった小中の連携を強化するように取り組みたいということで、考えています。

また、個別指導の時間の生み出しということで、小中一体で時間の生み出しをしていきたいということで、小中共通の取り組みとして挙げています。

(3) についてです。豊後高田市への教育視察ということで、12月2日に計画しております。行くメンバーは、校長会の代表4名の、小中学校2名ずつと、村松指導主事の合計5名が視察に行きます。豊後高田で行くのが、教育委員会にお邪魔して、資料に書いてあるようなことをお伺いして、その後桂陽小学校、高田中学校に行つて1から11までの項目について視察をしていく計画です。前回、桑原校長から説明がありましたが、先日教頭研修会で桑原校長や小坂校長が教頭会にも協力を仰ぎたいということで、説明をしているところです。以上報告を終わります。

(委員長)

担当課より説明が終わりました。委員の皆さま、何か質問等ございませんか。

(野上委員)

先生達に取り組んで頑張ろうという中で、子供達にはどう伝えて、子供達はどうか引き受けているのか、という共通の説明とかあるんですかね。どう説明して子ども達を乗せていこうと計画しているのかをお聞きしたいです。

(学校教育課長)

その辺のことは、まだ校長会から聞いていませんが、学力が必要なことは各教職員は分かっておりますし、中学校の場合は進路にも直結するということがありますので、臼杵市の点数が低いからこのような取り組みをしていますよ、というようなことを出さずに、やる気を持たせるように先生方から説明していただくと考えています。直接校長は子どもに接する機会がありませんので、担当の教職員の意識をいかに盛り上げて、教職員が思いを子ども達に伝えるかということが必要になってくると思いますので、そこのところはまたプロジェクト会議の報告、相談をしながら進めて行きたいなというように考えています。

(委員長)

例えば校長、あるいは教頭が全職員に取り組んでいることを、周知徹底をしなければなりませんよね。それを受けて教職員は、期末PTAの時に、冬休みの宿題は市内統一になっているんですよ、とか説明しなければならないことは共通理解をし合って説明すると思います。子ども達にも理解できるように、説明をすることが大事です。

(野上委員)

子ども達って、毎日頑張ってるって思ってると思うんですよ。めんどくさい、とかこんなことが増える、とか言うんですけど、そこは上手に納得させられるように伝えられたらいいのかなと思います。

す。

(渡辺委員)

実際に学校をまわってみると、アクティブラーニングどころか、依然として教師主導の授業形態が多い。スキルとして、教師の思いや授業形態を変えていかない限りは、こんなのを取り入れても効果は薄いのではないかと思います。小学校の方がアクティブラーニングが進んでいると思います。中学校は依然とした形がずっと続けられているのが気になります。今まで何十年も続けてきたことを変えるのは難しい事だと思いますが、そこは変わって行ってほしいなと思います。

(学校教育課長)

教職員の意識の向上が大事だと思いますので、基本は塾に行かなくても、自分の進路を掴み取れる子どもの育成を、校長会を通じて進めて行きたいと思います。素晴らしい環境の中で、教職員こそが、生徒にとって一番の環境であることを教職員が再認識する必要があると考えているところです。

(委員長)

今次教育改革は、教職員の意識改革だということを、何回も言ってきたと思います。教職員の世界だけでなく、いろんなところも意識の差というものがありますが、危機感を持って、点数で判断されることが、人間性の全てではないということは臼杵の子ども達を見た時に、いろんな面で素晴らしいと思いますので、大分教育事務所から総力を挙げて協力しますと言われたことを、教職員がどう受け止めて、目の前の子ども達の学力を上げることが大切ですから、豊かな心を育てながら頑張りましょう。共通問題を作るというのは、例えば1人が全部の問題を作るよりは、市内の子ども達に合う説明文だけを担当して作ればよいとなると、考え方によっては一回問題を作ったら、成果を見てどう変えればよいということが分かります。以上で、次第4を終わります。

5. 教育予算等について

特になければ、以上で、次第5を終わります。

6. その他について

(委員長)

「臼杵市フッ化物洗口事業検討委員会について」説明をお願いします。

(教育総務課長)

11月17日に、第3回目のフッ化物検討委員会を開きました。1点目に、実施方法についてです。フッ化物洗口事業における実施方法についてということで、資料1をご覧ください。第2回目に提案したものの再確認ということで、実施方法について具体的に説明をしています。2点目として、モデル校についてです。スムーズに導入を図るために、先行実施し、課題を探ることが目的です。2校を選んだ理由については、下北小学校については、1学年が1学級であることと、1学級の児童数が他と比べてかなり多いといったところからです。それと上北小学校については、複式学級があるという

ことと特別支援学級があるということから選んでおります。3回目の検討委員会で委員さんから出された意見としましては、学校や保護者の説明会では良い所だけではなく、懸念されている情報も示してほしいといったところや、朝礼の後は忙しいため他の時間にしてはどうか、フッ化物洗口の後に児童に異常が見られた場合の対応についてマニュアル等の作成をしていただきたいといったことが意見として出されました。モデル校につきましては、上北小学校で11月21日に教職員の説明会を行って、明日も引き続き行う予定です。下北小学校については、12月2日に説明会を行いまして、両方の学校で、保護者につきましては12月3日に説明をする予定です。以上です。

(委員長)

上北小学校へ説明会を行った時の反応はいかがでしたか。

(教育総務課長)

根本的に、学校現場は朝忙しいので、時間を考えてもらいたいとのことでした。低学年は落ち着きがないので、朝色々やるのは大変だという意見がありました。

(渡辺委員)

今現在の子どもの虫歯の数等の統計をとりますか。モデル校は1年間ですかね。

(教育総務課長)

来年度中に全校に導入したいと考えています。全体に広がるまで2校は実施し続けます。

(渡辺委員)

モデル校というと、普通期間を決めて行い、成果を見て全体に広げるか決めますよね。

(教育総務課長)

全校、出来るだけ早くという風に考えていますが、準備等で来年度の2月頃に全校で実施できたらと考えています。

(渡辺委員)

全体に広める根拠として、成果を見なければなりませんよね。成果が無かったら、する必要もないので。その辺の根拠をきちんとしておかないと、意味ないと思います。

(教育総務課長)

今回のモデル校というのは、実際に成果は全国的に報告されているので、成果をモデルとしてやっでいこうという考えじゃなくて、学校に試験的に入れてスムーズにいくために問題はないか、こうした方がいいんじゃないか、というものを探るためのものです。成果につきましては、全校に導入後毎年の歯の検査結果を見ながら検証していきたいと思っています。

(教育長)

補足です。大分県に虫歯が多いため、県としてフッ化物洗口を進めていって、当初は知事部局の方

で進めて行っていたんですけど、なかなか進まないため教育委員会に来たんだろうと思います。

そういう事で、県下でも色々取り組んでいるので、導入時に現場や子どもに負担が行かないよう考えながら行わなければならないので、そういった問題を把握するために、今年モデル校でやっていて、でてきた問題の解決策を拾い出してから広めたいです。来年度にはやりやすい環境で全校でやりたいです。

(渡辺委員)

家庭がそれを行うようになれば一番いいですよ。保健所なり、健康課なりの家庭に対する啓発を同時に行わないと、ただ学校だけが行事のようにするのは根本的に違うと思います。ゆくゆくは家庭に進めていくのが本来の姿だと思います。それがなかなか進まないの、学校に進めてくれないか、というのが国や学校の方針だと思いますが。細々したことが沢山あるので、混乱しなければいけないという心配があります。

(野上委員)

家庭でやる人、やらない人で二極化していく中で、やれていない子は、子供を社会で育てるという風になってきているんだ。個人の養育力では落ちてくる子がいるのをどう防いでいくのかということを見ると、社会のシステムの中で子どもを守っていくことにシフトしてきているのかなと思います。

保育園とかでも、ご飯を食べてこない子がいるとかということを見ると、社会が覚悟しないといけない時代になっているのかなと思います。そういった親をどう育てていけばいいかが課題になっているんだろうなと思います。

(渡辺委員)

例えば、お箸の持ち方、挨拶の仕方、鉛筆の持ち方、フッ化物洗口もですが、全てが学校に押し付けられるのは違うんじゃないかなと思うこともあります。

(委員長)

事前説明においても、十分に、保護者や教職員の心配を聞いてあげて、丁寧に説明をしてあげて、実施に当たっても、丁寧に記録をして対応していくという姿勢が大事だと思います。

「3つのきょう育推進フォーラム（家庭教育講演会）11/12について」説明をお願いします。

(社会教育課)

11月12日土曜日に3つのきょう育推進フォーラムを開催いたしました。資料をご覧ください。全体テーマとして、臼杵の子どもは臼杵のみんなで育てようということで、まずは3つのきょう育の取り組みの発表、家庭教育講演会を開催いたしました。講演は、熊本県宇城市中央公民館長で、内閣府地域活性化伝道師もされてます三角幸三様に、子供と絆を育むマジックコミュニケーションと題して、ご講演いただきました。また、当日は参加者にアンケートをいただきました。参加者が199名でした。

アンケート結果として、心に残った「言葉」や「キーワード」をいただきました。裏面には、参加者の方からの感想を挙げておりますので、ご一読いただけたらと思います。今回のキーワードや、家

庭教育の推進にあたって色々な言葉をいただいている内容を、社会教育委員の会議の中で、策定を進めています家庭教育基本方針に活かせれば、と思います。今年度の講演会、各学校訪問を、方針に基づいてどんなことをしていったらよいかを練っていただければと考えています。

(委員長)

いろんな人から、市民会館と中央公民館の大きな行事が重なっているというのは市はどういうことか、という意見がありましたので、調整をお願いしたいと思います。

「山内流寒中水泳大会について」説明をお願いします。

(社会教育課長)

資料をご覧ください。表面は、今年度取り組む内容を書いております。5月12日、7月14日の理事会、6月3日の総会での意見です。山内流を盛り上げるために取り組んできた方々が高齢化している、とか市のシンボルである、といったものです。裏面をご覧ください。10月27日第3回理事会での意見です。30回の歴史ということで、思い入れがあるのではないかとことや、実際やっている方の中で、寒い時期に夏と同じことをするのは問題があるのではないかと、山内流の技術を後世に伝えるのに役立っていないのではないかと、体調を崩す方がいて、かなり無理をしているのではないかと、意見が多かったです。教育委員会でも、記念行事としてできないかといった意見も頂いたということで、廃止でなく一旦休止をし、節目の行事みたいな方法を考えたかどうか、また実施にあたっての責任の明確化をし、市の行事という形をとってもらおうということで、実施方法を検討させていただくという風にまとめています。

(教育長)

来年の1月は無いということで残念ですが、私自身も理事会に出してお話を聞きましたが、体調のことを心配されたり、有志で始まったとか言われて、私がしてたら強く言えるんですけどしてないので言えなくて。せめて来年の1月3日で最後にできませんかとお話したんですけど、理事会で意見を出されてそれも出来ないということです。

(社会教育課長)

市報やホームページ、山内流のフェイスブック等を使って、最後であることの告知をしていきたいです。

(教育長)

寒中水泳が無くなるだけで、山内流が無くなるわけではありませんからね。夏はありますが寂しいですね。

(委員長)

来年ないから終わりです、という訳ではなく、記念の時等にまたやりましょうということもあるわけですね。

「臼杵っ子ガイド及び学芸員の育成について」の説明をお願いします。

(文化文化財課長)

臼杵っ子ガイドと、臼杵っ子学芸員の育成についてです。資料をご覧ください。ガイドにつきましては、臼杵っ子検定をして、90点以上の上級合格者について、希望をとって石仏の案内をする事業です。今年は、90人の5、6年生が受けて、14名が90点以上で合格をしています。その中で、今年から10回目の節目もありまして、以前から資料館の案内も子ども達にさせたらどうかという案もありましたので、臼杵っ子ガイドと併せて資料館を案内してもらう臼杵っ子学芸員を育成したらどうかということで、事業を始めております。目的としては、臼杵っ子ガイドと同じで、臼杵市の歴史を学ぶことで、臼杵市が持っている貴重な資料は宝物であるという意識を持ってもらおうということで、事業を実施していきます。

名称については、歴史資料館の案内ということで、臼杵っ子学芸員という名称を付けています。事業内容につきましては、(1)～(9)まで挙げていますが、まず講師についてですが、ガイドと同じで館長又は専門員にお願いしたいと思います。それから、臼杵っ子ガイドと臼杵っ子学芸員について、両方受講できます。14人の合格者に「両方したい」か、「石仏ガイド」、「資料館」、「どちらでも良い」で希望を取ったところ、14人中13人が両方やりたいということでしたので、頑張ってもらいたいということです。1人は、石仏のガイドだけという希望が出ています。

今年度、12月から3月まで月1回、計4回の講習会をしまして、3月に認定式を行い、来年度の4月以降に学芸員もデビューというスケジュールになっています。資料館について、第1の展示室の床に、豊後八郡絵図という絵図の説明をさせたり、第2の展示室で臼杵城関係、宗麟関係といったものの勉強もしてもらって、入館者に説明してもらうということで進めています。石仏のガイドと同じで、平日は厳しいので日曜日に資料館の絵図ウォークやイベントがあるときに、資料館でやってもらおうかなということで進めています。裏面ですが、今後12月から臼杵っ子ガイドと臼杵っ子学芸員で、月2回講習会を受けながら来年の3月の認定を受け、4月以降のデビューに向けて頑張ってもらいたい、期待をしているところです。以上です。

(委員長)

環境づくりの中で、自信を持って羽ばたいていく子供たちが増えていくことを嬉しく思います。以上で、次第6その他を終わります。他になれば、以上で11月定例教育委員会を終了します。お疲れ様でした。

これもちまして、11月の定例教育委員会を閉会します。
なお、委員の皆さまは、各課からの連絡事項がありますので、そのままお待ち下さい。
傍聴者の方におかれましては、閉会しましたので、退席をお願いします。
12月の定例教育委員会は、12月27日（火）9時から全員協議会室で開催します。
以上で11月定例教育委員会を終了します。お疲れ様でした。

会議録署名委員 _____

会議録署名委員 _____

会議録作成者 _____